

# 海外から義援金1億円

【海外開教区】から東日本大震災の被災者支援に、義援金が相次いで届けられている。5月31日現在、北米、ハイカナダ、南米の各開教区をはじめヨーロッパ開教地区のベルギー、オーストラリア・台湾・メキシコの各開教地などから合計1億円が本山・国際部に届けられている。

この中、北米開教区（小杭好臣開教総長）は大震災直後から開教区内の全仏教会に義援金を呼びかけるキャンペーンを展開している。メンバー（門信徒）

たちは「大震災は北でも大きく取り上げられ、多くのアメリカ人が日本のことを心配し、が日本のことを心配している。友人だけではなく日本人だとわかる言葉をかけられた」「日本を心のふるさとのよう

に慕う日系人をはじめ、日本人だとわかる言葉をかけられた」と見ず知らずの人からも日本のことを見た。日本人の温かい助

は「日本を母国のように慕う日系人をはじめ、日本人の温かい助

かれ、多くのアメリカ人が日本のことを心配している。友人だけではなく日本人だとわかる言葉をかけられた」と見

われ、小杭開教総長が橘正信総長に目録を手渡した。小杭開教総長

は「日本を母国のように慕う日系人をはじめ、日本人の温かい助

かれ、多くのアメリカ人が日本のことを心配している。友人だけではなく日本人だとわかる言葉をかけられた」と見

われ、小杭開教総長が橘正信総長に目録を手渡した。小杭開教総長

は「日本を母国のように慕う日系人をはじめ、日本人の温かい助

かれ、多くのアメリカ人が日本のことを心配している。友人だけではなく日本人だとわかる言葉をかけられた」と見

われ、小杭開教総長が橘正信総長に目録を手渡した。小杭開教総長

は「日本を母国のように慕う日系人をはじめ、日本人の温かい助

かれ、多くのアメリカ人が日本のことを心配している。友人だけではなく日本人だとわかる言葉をかけられた」と見

われ、小杭開教総長が橘正信総長に目録を手渡した。小杭開教総長

キャンセルが相次いだが、多くのメンバーが大遠忌法要の参拝を心待ちにしていた。遠く離れていても、お念佛